

社会に繋がる

世界の国々や地域の人々に心と力を合わせて

■ 社会貢献とコミュニケーション

仮囲いを利用して絵画コンクール受賞作品を展示



■ 撫養港海岸桑島瀬戸地区堤防改良工事(その7)

当社は、南海・東南海地震に伴う津波への対策工事として、国土交通省四国地方整備局及び鳴門市企業局発注の、堤防背面の地盤改良工事及び老朽化した鳴門競艇場の解体工事を行いました。

当現場では安全のため工事区域の周囲約500mに仮囲いを設置し、施工を行いました。この仮囲いを利用して、鳴門市と協力して地域住民から募集した絵画コンクール(鳴門市 水辺の風景等絵画展)の受賞作品を展示し、地域住民の皆さんにご覧いただきました。

受賞者は、小学生からご高齢のご婦人まで幅広く、いずれもとてもすばらしい作品で、とてもすばらしい風景になりがちな工事用の仮囲いを華麗に彩ってくれました。

表彰式では鳴門市長から一人ひとりに表彰状の授与があり、受賞者の皆様にはとても喜んでいただきました。表彰式の様子は、テレビ・新聞などでも紹介され、工事への理解を頂くとともに、地域とのコミュニケーションを深めることができました。

このような地域とのコミュニケーションおよび社会貢献について当工事は高い評価を頂くことができ、鳴門市長より感謝状をいただきました。

透水性舗装でふ頭利用者の利便性を向上

■ 広島港廿日市地区泊地(-12m)浚渫工事

当工事の準備工、片付工の際には現場近くにある木材港を使用させていただくなど、木材港関係者や利用者の皆さんには日頃から大変お世話になっておりました。

そんな折、木材港利用者から「木材港は開港から約35年が経過しており、舗装が痛み、水たまりが生じている箇所が点在している。資材を効率的に置けない等、水たまりに苦慮している」というお話を耳にしました。

岸壁際の水たまりについては、広島県が抜本的な排水対策を計画しており、問題が解決する見込みでした。しかし、その他に点在する水たまりには、排水対策が計画されていないようでした。

そこで、普段からお世話になっている方々への恩返しや地域貢献を目的として、荷役上支障となっている水たまりの箇所をヒアリングし、本工事において当該箇所に透水性舗装を舗設しました。

その結果、木材港の恒常的な水たまりが解消し、木材港利用者から感謝の声をいただくとともに、「廿日市木材港運送協議会」から感謝状をいただきました。



2014年度実績

■社会貢献

- ◎2014年度の目標を概ね達成
- ◎エコキャップ活動：収集結果 50.1 万個

2015年度目標

■社会貢献

- ◎2014年度の達成水準の維持
- ◎共生社会活動の推進

シンガポール建築建設局から GBS「Excellent」受賞

シンガポール政府の建築建設局(BCA: Building and Construction Authority)は毎年その分野において優れた功績のあった企業に対して表彰をしています。

今回、当社はBCAが促進するGreen and Gracious Builder Schemeにおいて「Excellent」という評価を頂きました。この賞は、建設業の環境意識やプロ意識の向上、社会的責任性を喚起するもので、環境やイノベーション・衛生、現場近隣との友好関係、リサイクル等々の項目が審査されます。

2010年7月から2015年3月まで施工したテコン島西バンド建設工事では、現場事務所および現場内の緑化運動を展開しました。現場勤務者の心のオアシスとなることを願いヤシ、バナナ、パイヤ、サトウキビ及びジャックフルーツ等を植えました。



現場内ヤシ設置状況



緑化看板



緑化活動

一人ひとりができることから始める

エコキャップ活動の推進

当社は、NPO法人エコキャップ推進協会が推進するエコキャップ活動に参加しています。この活動は、ペットボトルのキャップを再資源化してCO₂の削減を図るとともに、キャップの再資源化で得た売却益で世界の子供たちにワクチンを届けることを目的としたものです。

本社・支店のオフィスから現場まで全社で取り組み、2014年度は501,491個を回収しました。これはポリオワクチン583人分に相当し、3,673kgのCO₂を削減することができました。なお2008年9月から参加し、約236万個のキャップを回収しています。

タイ・ラオスに「救援衣類を送る運動」

アジア連帯委員会(CSA)では昭和55年以來、難民キャンプやタイ・ラオスの方々に「救援衣類を送る運動」を行っています。東亜建設工業労働組合では毎年この運動に参加し、組合員に協力を呼びかけています。2014年度分としてはダンボール箱45個分の衣類を送りました。



基幹労連「ふれ愛カンパ」への取り組み

当労働組合では今まで建設連合の一員として、連合・愛のカンパをはじめ、書き損じハガキの回収運動などを展開してまいりました。

建設連合は2014年9月に基幹労連と組織統合し、上記運動への取り組みは基幹労連「ふれ愛カンパ」への取り組みとして引き継いでいます。ふれ愛カンパの浄財は、①タイ・ラオス・カンボジアに寄贈したライブラリーカー(移動図書館)の維持・更新費用、②アジアの貧困家庭の子どもたちへの奨学金による教育支援費用、③ラオスに寄贈した小学校の維持補修費や高校生寮の運営支援、④連合・愛のカンパへの支援費用に充てられます。現在の取り組み期間は2014年11月から2015年8月末までであり、積極的に運動を展開しているところです。